

新型コロナウイルス感染拡大防止のための新潟小学校ガイドラインV

1 基本的な感染症対策

(1) 下記3つの条件が同時に重なる場（三密）を徹底的に避ける。

- ①密閉空間（密閉）
 - ②近距離での会話や発声（密接）
 - ③手の届く距離に多くの人がいる（密集）
- ※一つ一つの条件が発生しないように配慮する。

(2) 手洗いや咳エチケットを徹底する。正しい手の洗い方や咳エチケットについて指導する。
学校にいる間は、マスク着用を原則とする。

(3) 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけるよう指導する。

2 学校生活全般にかかる感染症対策

(1) 保健・給食について

【家庭にお願いすること】

- ①登校前の検温，健康観察票の記入
- ②マスクの準備 手作りも可（文科省のガイドラインによる。）
- ③発熱等のかぜの症状がみられるときは，自宅で休養すること。その症状・体温を学校に連絡すること。
- ④マスクが汚れたり，落としたりしたときなどに対応できるように換えのマスクを準備すること。

【学校の対策】

〈登校時，授業前〉

- ①登校時，玄関で級外職員が，児童に体温を測ってきたか声掛けをする。
→体温計測していない場合は，保健室で計測する。
- ②登校後，教室に入る前に手洗いをする。
- ③朝の健康観察を徹底する。健康観察票を確認する。

〈授業中〉

- ①座席の間隔を開け，マスクを必ず着用させる。
- ②換気を常時行う。気温が高い場合は，エアコンを使用して調節する。なお，エアコン使用時においても換気は必要であるため，窓や扉を少しずつ開ける。
- ③37.0℃以上の発熱や風邪の症状（咳・のどの痛み・だるさ・息苦しい等）がある場合は保護者に連絡し，家庭で休養（早退）させる。

〈休み時間〉

- ① 1時間ごとに換気を行う
- ②遊びの前と後は、手洗いを徹底させる。
- ③遊び場所を分ける。
- ④水道の蛇口に触れること等に不安を感じる場合は、水筒を持参してもよい（通年）。

〈給食〉

- ①丁寧に手洗いをする。
混雑をさけるため、時間ごとで区切って手洗い場に移動させる。
給食当番，1号車，2号車，3号車の順に，または，班ごとに。
※配膳も班，号車ごとに。
- ②複数の児童がへらやお玉にさわらないようにする。おかわりする場合は，担任が盛る。
- ③対面での喫食はしない。
- ④「いただきます」をしてから，マスクを外す。外したマスクは内側を折りたたんでビニール袋や布等に置くなどして清潔を保つようにする。食べ終わったら，マスクをする。

〈その他〉

- ① 1日1回以上消毒液を使用して拭く。
- ②休み明けには，改めて学級開きを行う。
EX) 黒板のメッセージ，子どもを笑顔にする活動など
- ③支持的風土の醸成を図りながら学級づくりを進める。
EX) 「オリジナルあいさつを考えよう」，「みんなのためになることをしよう」など

(2) 生活指導について

〈人間関係づくりについて〉

- 新型コロナウイルス感染者に対しての偏見，差別に繋がる行為がないように指導の徹底を図る。(思いやりのある人間関係づくりの推進→ふわふわ言葉，ありがとうカード，善行紹介 など)

〈登下校について〉

- ①登下校時は，奇数学年は第1階段，偶数学年は第2階段（ピロティ）を使用する。（下校は担任引率で）
- ②7時45分から8時10分の間に登校する。
- ③登下校時もマスクを着用する。

〈休み時間の遊び場について〉

- 体育館，グラウンド，ピロティ，4階多目的室，3階多目的室を学年・学級で割り当てる。
- 1，2年生は，オープンスペースも利用できる。
※一箇所に人が多くならないように，割り当てにそって活動する。
※休み時間の移動も，原則，登下校と同様にそれぞれの階段を使用する。
※休み時間に図書室が過密にならないように割り当て表にそって貸し借りをを行う。

〈清掃活動について〉

- ①黙動を徹底する。
- ②手洗い，マスクの着用を徹底する。

〈その他〉

- ①3～6年生の着がえ→家庭科室（男子）図工室（女子）は，4・5年生。
第1音楽室（男子）視聴覚室（女子）は，3・6年生。
- ②教室移動などに関わる廊下整列では，間隔を開けて並ぶことを確実に指導する。
- ③下校時の担任とのハイタッチはしない。（アイコンタクト→一礼→玄関外へ）
- ④下校時刻・・・時間をずらして，玄関，ふれあいホールなどでの接触を避ける
水曜日は，4・5・6年が先に下校。5分～10分くらいの間を開けて1・2・3年生が下校。各学級間も少し時間をずらす。

（3）授業・行事について

〈授業について〉

- ①学級単位での教育活動を基本とする。
- ②新型コロナウイルス感染者に対しての偏見，差別に繋がる行為がないように指導の徹底
- ③「やっぱり学校は楽しい」と思える楽しい授業の展開
- ④聴き合う活動・意見交流
 - ・座席の間隔を開けて配置する。【原則，テスト時のように机を離す。】
 - ・廊下側の欄間は，常時2カ所以上開けておく。天候がよい日は，外側の窓も開けておく。
 - ・飛沫防止のため，マスクを着用し，可能であれば距離（2m）を十分に離して発言・発声させる。大声は出さないように注意する。
- ⑤教材・教具の共有は避ける
 - ・共有しなければならない教材・教具の場合は，使用の前後，手洗いを徹底する。
- ⑥移動もマスクを着用する。整列は「前へならえ」の間隔で，移動中はしゃべらない。

〈行事等について【内容・方法を工夫して実施】〉

- ①新任式・始業式・終業式・・・校内放送+事前に撮ったVTR
- ②入学式・・・入学生，保護者，教職員，来賓はPTA会長のみで実施する。
アトラクションとして，入学式後，6年生が入場して校歌斉唱 2～5年生は休み
- ③からだ探検デー・・・学級単位での実施に変更する。
- ④避難訓練・・・学年毎に実施する。
- ⑤入学おめでとう集会・・・VTRを活用する。
- ⑥児童朝会・・・VTR，校内放送を活用する。
- ⑦展覧会・バザー・・・分散して実施する。

(4) 体力向上について

〈体育〉

- ①整列時は両手（片手）間隔で並ぶ。
- ②体育の授業前にマスクを着替えの袋などに入れて体育館やグラウンドに行って体育を行う。
- ③器械運動系，ボール運動系，表現運動系など身体接触がある活動でも，ペア活動やグループ活動をすることができる。ただし，可能な範囲で身体接触が少なくなるようにする。
- ④運動前・後は，必ず手洗いをする。
- ⑤屋内で実施する場合，複数箇所窓を開ける。
- ⑥こまめに水分補給をする。
- ⑦水泳授業は実施しない。

〈休み時間の体力づくり〉

- ①活動前・後の手洗いの徹底，マスク着用を原則とする。
- ②ボールなど用具・教具を共用するものを使用して遊ぶことができる。ただし，使用前後に手洗いを確実にを行い，可能な範囲で身体接触が少なくなるようにする。
- ③水分をしっかりとって熱中症にならないようにする。